

協定企業名	コクヨグループ
交流行事名	2013年「結の森」モニタリング調査
開催日時	平成25年10月5日（土）6日（日）
開催場所	道の駅・四万十大正 → ウェル花夢 → クリ植栽現場 → ウェル花夢（5日）→ 道の駅・四万十大正 → 協定林 → 道の駅・四万十大正（6日）
主な参加者・人数	コクヨグループ（11名）、四万十高校（16名）、四万十町（3名） 四万十町森林組合（10名）、高知県環境共生課（1名） 総勢 41名
交流活動の概要	【5日】 今までの清流度調査と植生調査の結果の分析→クリ収穫体験→森林組合及び四万十高校生による今までの成果のプレゼンテーション 【6日】 協定林で植生モニタリング調査
当日の様子	<p>今年のモニタリング調査は、あいにくの雨の影響で川に入れず、大幅に予定を変更して実施しました。</p> <p>道の駅・四万十大正に集合した後、ウェル花夢に直行し、今までの植生調査と清流度調査の結果を比較し、その傾向を発表することになりました。四万十高校の生徒らは手分けをして、取りまとめ作業を行いました。</p> <p>コクヨの社員の皆さんはこの時間を利用して、以前植樹した栗林に入り、今が旬の四万十大正の「栗の収穫体験」をカッパを着て行いました。森林組合に管理された栗園で収穫された栗は「焼栗」として賞味し、収穫の秋を皆で体感しました。</p> <p>夕方からは森林組合から「結の森」の広がりについての話があり、次に四万十高校生が植生調査チームと水質調査チームに分かれて今までの調査結果を発表しました。</p> <p>間伐をすると植生の分布が豊かになること、間伐後の年数に応じて植生の分布の特徴が異なること等がわかりました。</p>



次の日は、実際に協定林に入り、皆で植生調査を実施しました。小雨が降っていましたが、「暑くもなく寒くもなく」調査にはちょうどよい」と顧問の小笠原先生は話していました。この結果は後日分析するとのことでした。



今回の結の森モニタリング調査にはコクヨ東京本社の広報グループが取材クルーを連れて来ていました。この時の様子はコクヨのホームページで見ることができます。